

満州を駆ける

体裁——A5判・上製・函入・総八〇六頁
 定価——本体八、〇〇〇円＋税

二〇一二年二月刊

ISBN978-4-8350-6838-1

◎本書口絵より



◎本書「はじめに」より

東亜同文書院の「大旅行」は、各自の設定した調査テーマの調査報告書と全体の「大旅行」の調査旅行日誌からなる。本巻では第一部として調査旅行日誌を六編、調査報告書を第二部として一編、第三部として県域調査四編編集・収録した。第三部の四編の各県域調査は県レベルでの現地調査である。二年間で約一〇〇県、三年目も一七県の調査を行っており、合計一〇〇県を超える数の中からわずかに四県しか収録出来ないのは残念である。生原稿はそれぞれ力作が多く、紙幅をかなり占めるため、わずかに四編ではあるが、どのような調査が行なわれたかについてはうかがい知ることが出来る筈である。

なお、第二部の「北満農業調査」は、従来型のテーマ別調査報告書で卒業論文の作品になったものである。他にも多くの調査報告書があるが、その中から当時最もフロンティアゾーンとなっていた北満州で、それも北満州に移り住み始めた漢民族の農民による農業の実態を情報量の少い中で観察や聞き取り、満鉄や地元の情報などによって明らかにしようとしたものである。これによって調査報告書の一部をうかがい知ることができる。

以上述べたように、本巻で満州事変前後の満州の実態を書院生の調査旅行日誌の生き生きとした活写と調査旅行報告書の説得ある記録から理解していただけたら幸いである。

◎編著者紹介

藤田佳久（ふじた・よしひさ）

愛知大学名誉教授・地理学、愛知大学東亜同文書院大学記念センター

関連著作

- 『中国との出会い』（東亜同文書院 中国調査旅行記録第1巻）大明堂刊【弊社取扱図書】
- 『中国を歩く』（同第2巻）大明堂刊【弊社取扱図書】
- 『中国を越えて』（同第3巻）大明堂刊【弊社取扱図書】
- 『中国を記録する』（同第4巻）大明堂刊【弊社取扱図書】
- 『東亜同文書院中国大調査旅行の研究』大明堂刊

満州事変前後の
 当地の実態を、
 東亜同文書院生が
 活写

■発行所 不二出版株式会社

〒112-0005

東京都文京区水道2-10-10

TEL 03-5981-6704

FAX

03-5981-6705

http://fujishuppan.co.jp

administrator@fujishuppan.co.jp

注文カード	
注文 年 月 日	
帖合・貴店名	
条件：注文扱・返条付	
注文数	冊
東亜同文書院 中国調査旅行記録 第五巻 満州を駆ける 藤田佳久 編著 発行 不二出版 定価 本体八、〇〇〇円＋税 ISBN978-4-8350-6838-1 C3025	
お名前	

目次

はじめに

第一部 満州大調査旅行日誌の記録

- 第一章 調査旅行日誌（一九二八年、昭和三年）
- 第二章 調査旅行日誌（一九三〇年、昭和五年）、（抄）
- 第三章 調査旅行日誌（一九三二年、昭和七年）、（抄）
- 第四章 調査旅行日誌（一九三二年、昭和七年）、（抄）
- 第五章 調査旅行日誌（一九三二年、昭和七年）、（抄）
- 第六章 調査旅行日誌ノ付記「旅行後記」（一九三二年、昭和七年）

第二部 満州調査旅行報告書「北満農業調査」

北満農業調査（一九二九年、昭和四年）

iii 3 5 42 95 135 190 245 269 271

目次

第三部 満州・県別調査旅行報告の記録

- 第一章 黒竜江省阿城県（一九三三年、昭和八年）
- 第二章 吉林省琿春県（一九三三年、昭和八年）
- 第三章 黒竜江省富錦県（一九三三年、昭和八年）
- 第四章 吉林省汪清県調査報告書のうち「風俗及民度」（一九三三年、昭和八年）

第四部 『満州を駆ける』をめぐる

- 第一章 東亜同文書院の満州大調査旅行
- 第二章 東亜同文書院生の記録からみた
二〇世紀初期の満州における農地開発に関する研究

あとがき

329 331 357 429 496 531 533 557 605